

年次総会記念講演会開催のお知らせ

記念講演

【講演要旨】 行政から見た食品安全と農林水産行政の現場

食品安全を確保するため、食品衛生法が改正され、食品事業者において HACCP による衛生管理が進められています。しかし、過去を振り返ると、HACCP の取り組みを進めていながら大きな食中毒事故が発生してしまった企業があります。その事例を紹介しながら、制度の理解と運用の大切さについて、いっしょに考えたいと思います。そして、この企業が事故発生にともなってどのような対応をしたのか、それが企業にどれだけ大きなダメージを与えたかについてもご紹介いたします。また、食品事故や食の安全を脅かす問題の発生は、企業だけではなく、行政のあり方についても議論するきっかけとなってきました。現在の食品の安全を守る行政の考え方や役割分担、そして食の安全に取り組む農林水産省の現場についてお話しいたします。

以上のような話に加えて、農政の話題として、食料自給率や近畿農業の姿などについても話題を提供いたします。

【講師紹介】 農林水産省近畿農政局次長 小林 博行 様

【主な経歴】

1983年3月東北大学農学部卒業

1983年4月 農林水産省（畜産局）に入省。

1984年から国の牧場で豚の改良業務に従事

1987年から農林水産省で豚生産や食肉流通行政を担当。

1994年から長崎県へ出向し、主に肉用牛振興行政を担当。

1999年から農林水産省で牛乳、食肉、競馬、家畜飼料等を担当し、この間、雪印乳業食中毒事件、BSE問題、口蹄疫が発生。

2010年から九州農政局部長、

2013年から農林水産省畜産振興課長、

2015年から独立行政法人農畜産業振興機構総括理事を務め、

2017年から現職。

【開催日時】 令和元年8月1日（木）受付 14：15

記念講演 14：30～16：30（120分）

交流会（無料） 16：30～17：30（60分）

【会場】 三和建设株式会社 本社1階 ひとつづくりホール

〒532-0013 大阪市淀川区木川西2-2-5

最寄り駅：阪急電車十三駅東口 地下鉄御堂筋線西中島南方駅2号出口

徒歩10分 木川西二丁目バス停前

【受講料】 近畿 HACCP 実践研究会員は無料、一般の方は3,000円（資料代）

年次総会記念講演会 お申し込み

お申込は FAX またはホームページからお願いします。

受講申込書 <FAX> 06-7632-3005

<https://www.workshop-haccp.org/>

※ 受講料は当日会場にてお支払いください

会社名		電話	FAX
会社住所	〒	○ 会員 ○ 一般	
受講者 1		メール	交流会：出 欠
受講者 2		メール	交流会：出 欠

【お問い合わせ先】（主催）特定非営利活動法人近畿 HACCP 実践研究会

電話 090-3260-1919（代表）：担当：副理事長・事務局長 谷 淳臣



駐車場はございませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。

阪急十三駅東口または地下鉄西中島南方下車 2 号出口、淀川通りを徒歩約 10 分前後 大阪市営バス停 木川西二丁目